

たかぶくの まちづくり

No.41

協議会
広報紙

高
原
の
人
口

世帯数
人 口
男 女

2,922戸
7,578人
3,730人
3,848人

R7.5.31 現在

目次

p2 … 令和6年度決算、7年度予算案

p3 … 防災井戸講習・実演会、高浜七年祭視察ほか

p4～5 … 田んぼアート

p6 … 高原まめ知識、防災力UPミニ講座ほか



6月8日(日) 防災井戸講習会・ポンプ実演会 (主催:高棕地区防災計画推進委員会)

災害時に大きな課題となるのが「水の確保」と「清潔なトイレ」です。

そこで、どこにでもあった「井戸」に注目し、井戸の専門家による講義と実演をおこないました。また、ポンプ実演会と合わせて、最近発表された「備蓄型水洗トイレ」の実演も行われました。



講義・実演はYouTubeで見ることができます



上記のQRコード、または「たかむくチャンネル」で検索してね

6月14日(土) 歴史講演会「隠れた名将 堀 秀政」 ～高棕地区との関りをまじえて～

今回は9月6日(土)「丸岡藩の特産『豊原素麺』」です。



講師は坂井市
学芸員の角 明浩氏



6月15日(日) 高浜七年祭 視察研修会

県指定無形民俗文化財の「高浜七年祭」は、高浜町の「佐伎治(さきち)神社」で、まつり年を含めて7年目ごとに行われ、400年以上の歴史があります。

高浜七年祭について、高浜町郷土資料館の倉田尚明学芸員から説明を受けました。その中で倉田学芸員は、伝統行事である祭を続けていくには、今までとは違う体制にするなど柔軟に対応していくほか、祭の歴史を知り、誇りをもつことが大切だと言われました。

高棕地区には「舟寄踊り」という県指定無形民俗文化財がありますが、こちらも愛着や誇りを持てる取り組みが求められると感じました。



令和7年度のまちづくり協議会がスタートしました

4月23日(水)、高棕コミュニティセンターにおいて、令和7年度のたかむくのまちづくり協議会総会が開催され、前年度の決算報告と、今年度の予算が承認されました。



令和7年～8年度まち協役員



令和7年度の予算案

(収 入)

地区会費	920,000円
市交付金	4,813,700円
参加費	300,000円
雑収入	31,791円
繰越金	1,834,509円
合 計	7,900,000円

(支 出)

会議費	30,000円
事務費	280,000円
総務費	1,723,115円
区長会活動費	1,222,635円
敬老事業費	1,344,250円
地区防災計画推進事業費	650,000円
あんしん部会	500,000円
ふれあい部会	650,000円
歴史文化部会	1,000,000円
センター活動費	150,000円
予備費	350,000円
合 計	7,900,000円

令和6年度の決算報告

(収 入)

地区会費	929,000円
市交付金	4,902,900円
寄付金	0円
雑収入	360,248円
繰越金	1,288,910円
合 計	7,481,058円

(支 出)

会議費	14,644円
事務費	215,102円
総務費	1,117,672円
区長会活動費	909,484円
敬老事業費	1,329,750円
あんしん部会	540,122円
ふれあい部会	599,222円
歴史文化部会	782,704円
センター活動費	137,849円
予備費	0円
次年度繰越金	1,834,509円
合 計	7,481,058円

今年度から収入の部で「参加費」、支出の部で「地区防災計画推進事業費」が設けられました。今年の「高棕ふれあいまつり」も、敬老事業を兼ねて地区の皆さまが交流できる楽しい催しを行いますので、ぜひご参加ください。

また、今年も元オリンピック選手の青戸慎司さんを高棕小学校にお招きしてかけっこ教室を開催します。児童に走る喜びを知ってもらえたらと思っています。

(たかむくのまちづくり協議会 会長 金崎 昭雄)



今年のデザインは
「坂井ほや丸」やぞ!

できあがり
の
楽しみ
やがの



田んぼアート田植え《5月24日(土)》



小雨の中でも子どもたちは元気いっぱい



田んぼアート2025 DVD鑑賞会を開催します。
5月に植えた苗がすくすく育ち、坂井ほや丸の絵が浮かび上がってきました。田んぼアートの様子をドローンで撮影した動画を見に来ませんか?

日時 8月下旬ごろ
場所 高棕コミュニティセンター 1階ロビー
詳細 8月発行の「コシセンだより」にてお知らせします

猪爪は一五八〇年頃の記録では「井のつめ」と呼ばれ、湧き水の豊かな土地であった。北に「たいちん池」東に「弁天清水」の湧水池があった。

八幡町にある河濯神社の別当寺であった真言宗修験泰長院によつて管理されていたと云われている。元禄七年（一六九四）二月、泰長院は猪爪村の東方にある池の近くに弁財天お堂を建て、石板に神霊の弁財天像を刻み、石の祠に納めて祀り、祠に「泰開眼弁財天守護祈所」と刻銘した。後に本像（木像の像丈約三〇センチ）も祀った。

しかし明治四年（一八七二）には神仏分離令で、この本像は台雲寺に預けられ、現在の猪爪弁財天お堂には石像のみが祀られている。（たかむく玉手箱 初版本より引用）



お堂内の猪爪弁財天石像



現在の猪爪弁財天お堂



猪爪弁財天本像(台雲寺所蔵)

防災力UP! ニ講座 第14回

地域に合った避難行動計画を

企業や地域が自然災害や大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合、命を一番最初に考え被害を最小限にとどめ、早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や手段を取り決めておくことが大事です。

自然災害は遠い地域の話ではなく、差し迫った身近なリスクであることを承知してほしいです。被害程度や金額の負担も大きくなってきている昨今の災害では、業種・規模等を問わず、こうした生活基盤を脅かすリスクに対して事前対策にも取り組まなければ、自分の地域で起こった災害により、生命と生活基盤の存続が危うくなります。

既に高原地区では、今年度より設立された「防災計画推進委員会」が5カ年計画づくりを始めています。この計画の主役は、高原地区のすべての住民です。地域住民ひとりひとりが主役となって取り組める計画であることが必要です。

しかし一旦災害が起きれば、絶対計画通りにはならないのが現実です。自分の地域で作成したルールにより対応することが、一番大事なことではないでしょうか。

（防災士 吉田 幸憲）

自宅または区でできる防災計画の一例 (地震・発災直後の場合)

身の安全確保

声掛け確認、シェイクアウト(低く・頭を守り・じっとする)、外へ出る時はヘルメット・スニーカー着用

安否確認 負傷者の救護

(自分の安全を確保してから)建物内にいる者の安否確認、自宅から隣近所へ拡大、負傷者の状況把握・救護、安全な場所で救護

二次災害防止

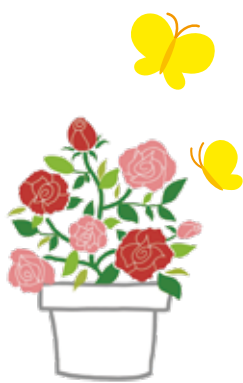
通電火災防止(通電ブレーカーの設置)、ガス栓閉め、消火器の確保(可能なら初期消火)
※できれば2人で対応する

屋外脱出

避難開始呼びかけ、非常持ち出し袋、重要書類の搬出、一次避難所に誘導(リーダーは無線機携行が望ましい)

編集後記

最近、バラ栽培に目覚めました。市内にはグリーンセンター、ゆりの里公園など花の見どころは多いのですが、関心が出てくると、近所のお宅の庭でもバラ、アジサイを始め四季の花々が楽しめることを発見しました。私たちの身近なところにも植物園はあるんですね。(ちなみに庭いじりは、ジムで筋トレ、有酸素運動をするよりダイエット効果がありますよ。)(Y)



ふくい桜マラソン2025 「地元ランナー」をご招待

開催日時 令和8年3月29日(日) 8:30～

招待種目 フルマラソン(42.195 km)

招待人数 高原地区 3名

参加料 無料(交通費・宿泊費等は自己負担)

参加資格

- ◎満18歳以上(大会当日時点)の方で、高原地区の自治会に加入されている方
- ◎ランナー募集要項に定める注意事項等を遵守できる方
- ◎地区名入りアスリートビブスを着用し、大会に参加することを承諾していただける方

申込締切 8月29日(金) 午後5時まで

申込方法 高原コミュニティセンターにある申込書に記入・提出してください

申込み多数の場合は
抽選になりますので
ご了承ください

